

人口	男	3,415人 (+9)
	女	3,697人 (-1)
	計	7,112人 (+8)
世帯数		1,837 (+9)
() は3月1日との比較		



平成 7 年 4 月 19 日
 発行 新潟県三島郡三島町役場
 ☎ (0258) (代) 42-2221
 印刷 長岡市 あかつき印刷

新時代



みなさんとともに

合併40周年記念号

廃品を集め寄付 脇野町小学校



ネパールの井戸掘削に

ネパールの井戸掘削費用にあててほしいと、脇小6年生(現中学1年生)の児童が町に6万2,399円を寄付しました。

このお金は、ネパールの子どもたちが安心しておいしい水を飲めるようにと、児童が古新聞や空缶を集めて換金したものです。町では児童の意に添うよう寄付金を日本赤十字社を通じて送りました。

車いすをみしま園に贈呈

脇小5年生(現6年生)児童は、昨年度みんなで集めた空缶を換金し、みしま園に車いすを贈りました。

児童からの贈り物にみしま園の入居者は大喜び。園内で大いに利用されています。



空き缶拾い

捨てる人あれば拾う人も……あり。

4月2日、約20名が参加し、町商工会青年部主催の春の恒例行事、空き缶拾いが行われました。

中永トンネル東口からと新保南交差点からの二手に分かれ、国道脇に投げ捨てられた空き缶を、ひとつひとつつひとつひとニールの袋に集め始めると、トラック三台分の空き缶が回収されました。春本番。これから行楽シーズンです。ドライブに出かける機会も多くなりますが、空き缶などのポイ捨てはしないようにしましょう。

缶とビンは資源回収へ

編集後記

▼会うは別れの始めとか、いつものことながら、年度変わりの4月は卒業、就職、転勤など様々な人生の節目があり、いろいろな出会いと別れがあったのではないのでしょうか。▼平成7年度がスタートしました。合併40周年の新年度予算の内容は盛りだくさんの内容です。記念すべき年を迎え今月号では予算内容のほか、これまでの町の歩みを振り返る簡単な年表を載せてみました。貴重な写真を提供いただいた方々に紙面を借りて厚くお礼申し上げます。なお、今回紹介できなかった写真もありますので、次号からシリーズ化して掲載したいと考えています。▼今月号は40周年の記念号。紙質をいつもより少しよいものになりました。中性紙系を使っているのが、普通に保管されれば百年は腐りません。「新時代」をキーワードとし、ページ数については、40周年にちなみ40ページに、……と言いたいくところですが、これは、こじつけ的な偶然です。▼4月といえば悲喜こもももの人事異動の月です。役場職員の間も近年にない大がかりなものでしたが、広報担当者は異動なし。事務機が右へ1メートル移動しただけでした。しかしながら気分は新任広報マンのつもりです。で、よろしく願います。

輝かしい新時代に向かい 町勢の限りない 発展を願う

三島町長 河内忠彦

私たちの郷土三島町は、時限立法として制定された「町村合併促進法」により、昭和三十年三月三十一日、脇野町と大津村の一部が新設合併し誕生しました。翌年の三十一年九月三十日には日吉村の鳥越、七日市の両地区を編入合併し、町勢をさらに拡大、本年四十周年を迎えることになりました。先輩各位の格別なるご尽力で記念すべき節目の年を迎え得ましたことは、誠にめでたく、七千町民皆様と共に心から喜びを分かち合いたいと存じます。

思い起こしますと、合併当時は我が国が戦後の荒廃から立ち直り、世界史上類の無い高度成長の途にいた時期でありました。以降、我が国は敗戦国から強大な国際国家へと成長し、当町もまたそれと符節をあわせるように、

脇野町保育園最後の卒園児とともに（3月27日、終了式・終園式で）



生活基盤の整備を始めとし、産業の振興、教育文化と社会福祉の充実に努め、隆々発展を遂げてきたのであります。

昭和三十七年には、文化的生活の生命線である上水道が九百戸余りで供用開始となり、その後全世帯に給水区域は拡張しました。都市ガス事業は昭和四十七年に認可を受け、五十二年に町内全域が供給区域となりました。五十九年に認可された公共下水道事業は、元号が変わった平成元年に一部地域で供用開始となり、現在全町普及を目指し、着々と整備を進めているところであります。

交通網は、合併以来、町民各位のご協力で、基幹町道の整備改良が進み、県道と板根原線のバイパス改良舗装の完工（昭和四十六年）、国道三五二号線及び四〇三号線の昇格など、国、県当局のご指導のもと整備拡充を推進して参りました。昭和五十年代には、北陸・関越自動車道及び上越新幹線の開通で高速交通体系も整備され、首都圏との時間的距離は、大幅に短縮されました。その優位性から、長岡テクノポリス地域や長岡地方拠点都市地域の一隅にも指定をされ、広域的なプロジェクトが推進されるに至りましたことは、誠に喜ばしい限りです。

特に、ここ十か年間にわたる歩みを振り返ってみますと、将来にわたる優れた人材育成のための教育施設の整備

として、脇野町小学校プールや三島中学校体育館、日吉小学校校舎・体育館の改築など、教育施設の充実強化、あるいは、健康的なスポーツ・レクリエーションの場としてスポーツ広場野球場、テニスコートの整備など、体育教育施設の拡充整備を進めました。また、ふるさと創生事業に端を発し、多目的集会施設としてみしま交流センター、みしま中央会館を整備したほか、ふるさとソング「三島慕情」「三島音頭」を制定するなど、社会資本の整備のみならず、ソフト面でも積極的な施策を進めてきたところであります。

さらに、特筆すべきことは、土地区画整理事業の導入による新規工業団地への企業の立地と新たな雇用の創出、さらには、市街地の拡大と宅地造成などを進めた結果、地方圏におきましては極めて稀な「人口増加町」として今日の隆盛を見るに至りました。

合併以来、幾多の集中豪雨や豪雪など自然災害で甚大な被害を受けながらも見事復興を遂げ、当町がこのように日々発展を続けることができましたのも、多くの先人たちの英知とたゆまぬ努力、それを受け継いだ町民の皆様のご愛郷精神によるもので、この機会に改めて深甚なる敬意と感謝の意を表するものであります。

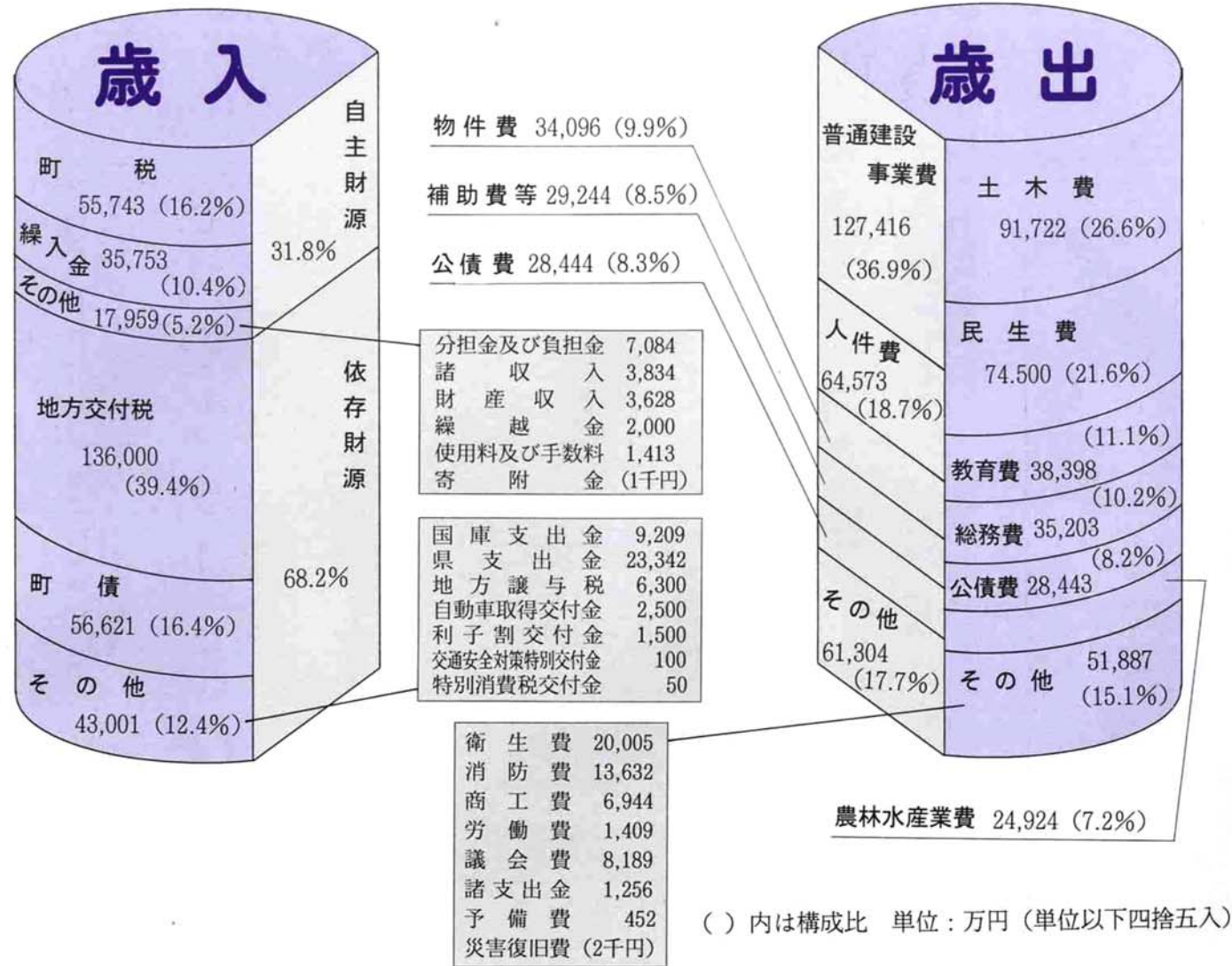
さて、高度経済成長が終焉し、経済のソフト化、価値観の多様化、高齢化、

情報化など、時代が大きくなうねりの中にあり、急速な社会の変化に柔軟に対応する質の高い地方行政の展開が求められています。今後はさらに、時の流れを的確につかみ、子孫に恥じない町政を展開し、新世紀に伝えて行く所存であります。

それには、これまで以上に町民と行政が一体となったまちづくりが必要であり、これが、町の今後の発展の可否を決めるものといっても、過言ではありません。だれもがこの町に住んでよかったです。また、だれもが魅力を感じて来てみたいと思う、そんな誇りを持てるふるさとにするためにも、町民総参加、町民本位の行政を推進しなければなりません。合併四十周年を迎え、輝かしい新時代に向かって我が町の優れた活力が将来にわたって永続的に発展するように、私が信条としている「町民との融和」を進め、英知と勇断をもって邁進する所存であります。

是非ともさらなる町行政へのご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。次第であります。

終わりに臨み、三島町の限りない発展を皆様とともに念願し、各位のご健勝とご繁栄を心からご祈念申し上げます。合併四十周年のごあいさつといたします。



() 内は構成比 単位：万円 (単位以下四捨五入)



お年寄りが安心して暮らせるまちづくりを進めます

私たちの住むまちーみしまー。今年で40歳となりました。今世紀最後の節目の年を迎え、自信を持ち、誇りうるまちづくりに、一般会計と3つの特別会計総額52億9,802万円を計上しました。新時代、新世紀へ向かって大きく飛躍する年です。

新時代へ向け総額52億9,802万円

歳入

転入者増で固定資産税が増加
優良債で財源確保

町税は総額5億5,743万円で、前年度当初より1,513万円の減少となりますが、これは前年度当初において、町民税の特別減税分を控除してないためで、これを差し引くと実質4.6%増となります。

税目別では、町民税は特別減税分として前年度3,970万円に対し、本年度2,160万円を見込み、また、法人税の落ち込みなどで減税分を相殺すると、ほぼ横ばいとなります。

固定資産税は、中央団地への転入者の増や評価替えに伴い7.8%の伸びを見込みました。歳入に占める町税の割合は16.2%となっています。

地方交付税は、国の予算では交付税会計における国からの借入金等で、出口ベースで対前年

度4.2%の増額が確保されています。これを考慮の上、本年度分の事業費補正の算定を行い、普通交付税12億8,000万円、特別交付税8,000万円、合計13億6,000万円を計上しました。

国・県支出金は合わせて3億2,552万円で、前年度より6,483万円、24.9%増を計上しました。これは主にデイサービスセンター建設補助金の増によるものです。

繰入金は、財政調整基金より1億円、減債基金より753万円、ふるさと基金より5,000万円、厚生福祉施設整備基金より1億5,000万円、地域総合整備基金より5,000万円、合計3億5,753万円の繰り入れを見込みました。

歳出

教育施設整備基金に積立
建設事業に12億7千万円

町債では、中央公園・町道整備等土木関係で3億6,600万円、デイサービスセンター建設事業で1億1,000万円、ほ場整備事業等農業関係で4,940万円、消防施設整備事業で1,830万円、住民税等減税補てん債2,000万円、障害者住宅整備で250万円、合計5億6,620万円の借り入れを見込みました。

国の地方財政対策において、財源不足を補うため地方債が大きく伸びていますが、これら地方債においては、後年度元利償還金の一部が地方交付税で措置される優良債が多く見込まれる状況であり、財源確保のため借入可能額いっぱい借り入れを見込みました。

歳出の予算編成にあたっては、経常経費の徹底した見直しと経費の節減合理化に取り組みました。そのひとつとして役場事務のOA化を推進していますが、本年度住民課の窓口を主体とした住民情報システムを導入し、迅速な窓口対応と行政事務の効率化を図ります。

歳出を性質別にみると、人件費は6億4,573万円で歳出総額に占める割合は18.7%、対前年度6.0%の伸びとなっています。

物件費は3億4,096万円で構成比率は9.9%、公債費は2億8,444万円で構成比率は8.3%、人件費は6億4,573万円で構成比率は18.7%、土木費は9億1,722万円で構成比率は26.6%、民生費は7億4,500万円で構成比率は21.6%、教育費は3億8,398万円で構成比率は10.2%、総務費は3億5,203万円で構成比率は8.2%、公債費は2億8,443万円で構成比率は8.3%、その他は5億1,887万円で構成比率は15.1%、農林水産業費は2億4,924万円で構成比率は7.2%、衛生費は2億0,005万円で構成比率は6.0%、消防費は1億3,632万円で構成比率は4.1%、商工費は6,944万円で構成比率は0.2%、労働費は1,409万円で構成比率は0.3%、議会費は8,189万円で構成比率は0.2%、諸支出金は1,256万円で構成比率は0.2%、予備費は452万円で構成比率は0.1%、災害復旧費は2千円で構成比率は0.0%です。

建設事業費は、総額12億7,416万円で構成比率は36.9%となっています。

主要事業としては、デイサービスセンター建設事業、中央公園と居住空間整備事業、郷土資料館内装整備事業、町道整備事業、南部地区ほ場整備事業などが予定されています。

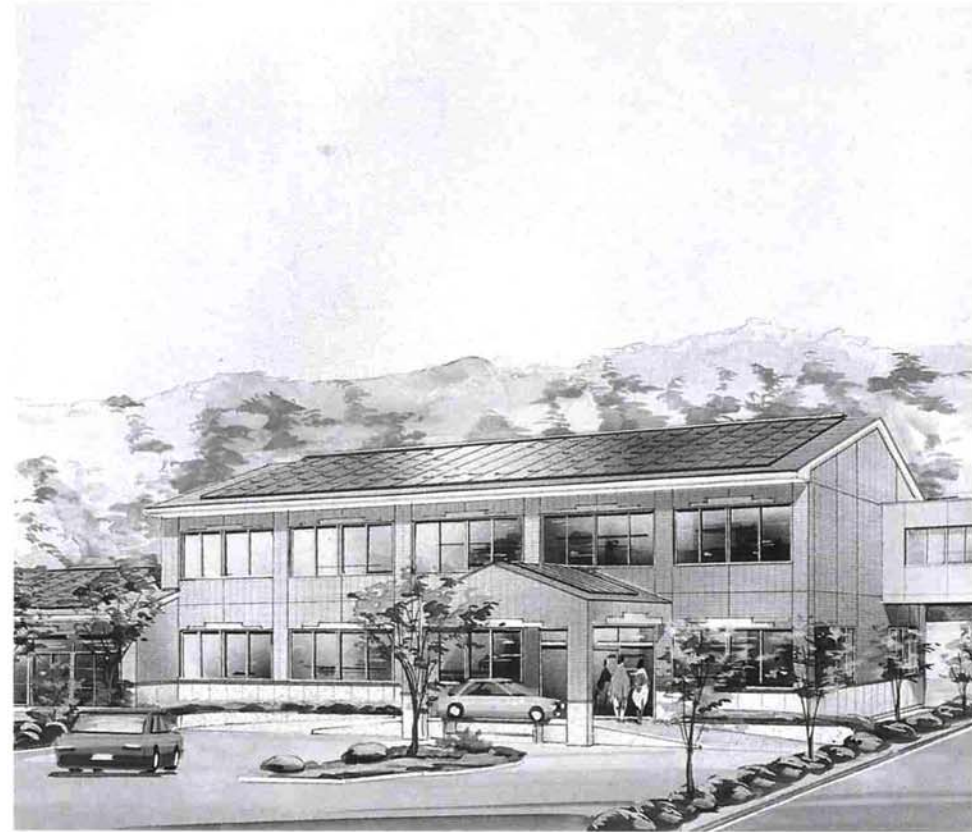
家庭での介護を応援します

在宅福祉サービスのご案内

下記は概要説明ですので、詳しいことは福祉課か社会福祉協議会にお問い合わせになるか、またはお近くの民生委員さんにご相談ください。

(注) 費用負担は新年度見込額

<p>ホームヘルプサービス</p> <p>介護を必要とするおおむね65歳以上のお年寄り世帯にホームヘルパーが訪問し、介護のお手伝いや身の回りのお世話をを行う。</p> <p>費用・世帯の所得税によって 1時間:無料~910円(H7.7.1~)</p>	<p>日常生活用具等給付</p> <p>寝たきり老人等に対し、特殊寝台や、床ずれ防止エアーマット等生活に必要な用具を給付(貸与)する。</p> <p>費用・世帯の所得税額による。</p>	<p>ねたきり老人家庭援助</p> <p>在宅でおむつを必要としているおおむね65歳以上の老人等に、布おむつを貸与する。</p> <p>費用・所得税非課税世帯は無料。課税世帯に限り1枚 15円。</p>
<p>老人医療費助成</p> <p>65歳以上のひとり暮らし老人等を対象に医療費を助成</p>	<p>ショートステイ</p> <p>寝たきり老人の方等を介護している人が一時的に介護が困難になった場合、お年寄りを7日間を原則として預かる。</p> <p>費用・1日 2,120円</p>	<p>在宅寝たきり者介護手当支給</p> <p>寝たきり老人を介護している方に月額7,000円を支給する。</p>
<p>敬老会</p> <p>長寿者に敬老記念品及び感謝状、祝い状を贈呈(100歳、99歳、95歳、88歳)</p> <p>9月15日に町主催で敬老会を開催(T11.12.31生まれまでの方)</p>	<p>給食サービス</p> <p>おおむね65歳以上の一人暮らしのお年寄りを対象に、給食会や配食を適宜実施する。</p> <p>(三島町社会福祉協議会事業)</p>	<p>通所入浴サービス</p> <p>寝たきりのお年寄りを対象に「みしま園」で入浴サービスを行う。</p> <p>費用・1回 530円</p>



医療に支援される高齢者福祉の拠点施設-デイサービスセンター

高齢社会を迎え、「デイサービスセンター」を建設

高齢者福祉の 拠点施設を建設

本格的な高齢社会の到来に備え、昨年策定した「三島町保健福祉計画」では、高齢者福祉、特に介護を必要とするお年寄りに対する福祉充実を最重点項目としています。その実現に向け、今年度で高齢者福祉の拠点施設となるデイサービスセンターを建設します。

デイサービスセンターは、介護を必要とするお年寄りを日中お預かりし、入浴や食事、機能回復訓練などの各種サービスを提供する施設です。利用者の心身機能の維持と向上、介護する家族の方の身体的、精神的負担の軽減を目的として建設するものです。この施設には、在宅介護支援センターを併設し、ボランティアによる在宅福祉の充実を図るなど、特色ある福祉施設とする計画です。

建設地は宮沢地内の特養みしま園に隣接する箇所、特養みしま園と渡り廊下で連絡させ、お互いの機能を発揮できるような施設とします。また、三島病

院とも連携し、医療に支援される高齢者福祉の拠点として運営する予定です。今年度で建物等施設を整備し、平成8年度早期の利用開始を目指します。

在宅福祉サービスの 充実

介護を必要とするお年寄りは、高齢人口の増加とともに、年々増加しており、特別養護老人ホーム等への入所、通所入浴サービス、老人短期入所や在宅ねたきり者介護手当支給、緊急通報システム、ねたきり老人家庭援助、ホームヘルプサービスなど各種在宅福祉サービスの充実を図ります。

そのほか、障害者・母子寡婦福祉として心身障害者タクシー助成や母子・父子入学等支度金支給事業などを継続実施します。

保母を増員し 児童福祉を充実

長い間、町の保育事業にご尽力いただきました脇野町保育園が3月末に廃止となり、同園児

を応急的に、町立保育所に受け入れました。

町では、次代を担う児童の健全育成を図るため、保母2名を新規採用し、保育の充実に努めます。

健康な身体と丈夫な 歯づくりの推進

保健衛生では、老人保健事業による健康教育、健康相談、健康診査等を徹底し、日帰りドックの充実により疾病の早期発見と健康づくりを推進します。

特に児童、生徒の虫歯の少なさが県でトップランクにある当町では、地域保健推進特別事業として、乳幼児からお年寄りまで、全年齢層にわたる歯科保健指導を積極的に進めます。

ごみの分別収集と 減量化を町ぐるみで

増大するごみの減量化とリサイクル(有用資源物の再利用)を進めるため、有用資源物回収奨励金制度(1トン当たり4千円支給)を継続実施し、町ぐる

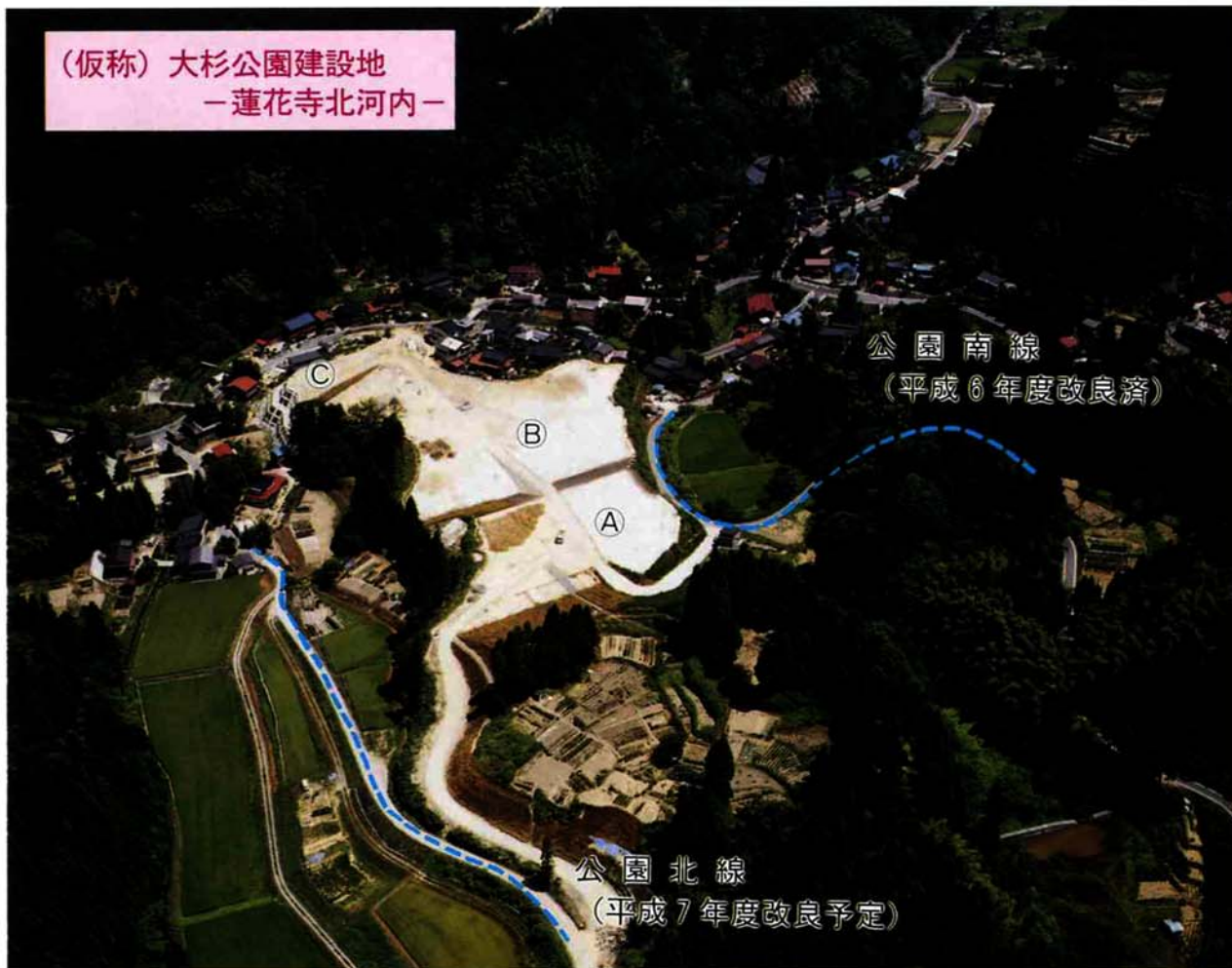
みの分別収集を促進します。

EM菌処理器購入に 補助制度

家庭の台所から出る生ごみの減量化を進めるため、生ごみ処理器(コンポスト)設置費への補助金交付を継続して実施するほか、今年度から有機微生物群EM菌を利用した処理器設置費補助事業を新しく始めます。EM菌処理は、無数の細菌の働きで、悪臭を放つことなく生ごみを堆肥に替えるものです。

三島町 不燃物処理場(逆谷)を 閉鎖し環境を整備

長岡地区衛生処理組合鳥越事業所の粗大ごみ処理施設の稼働に伴って、三島町不燃物処理場を本年3月で閉鎖しました。今年度は、同処分場の変更工事(覆土)を実施するほか、付近の環境への影響を調査するため、ボーリングをし、地下水の水質を常時監視します。



(仮称) 大杉公園建設地
—蓮花寺北河内—

公園南線
(平成6年度改良済)

公園北線
(平成7年度改良予定)

(仮称) 大杉公園は3面で構成されます。上段Aは4,250㎡、中段Bは6,505㎡、下段Cは721㎡の広さがあります。今年度で、こうした地形の特徴をいかした整備計画を策定します。



20××年のみしま中央団地。黒川堤防は桜の名所となり、水と緑に親しめる空間となります。

「(仮称) 中央公園」は来春完成 黒川堤防を桜の名所に

みしま中央団地に 大規模公園を整備

「自ら考え自ら行う地域づくり」として平成元年度から取り組んでいる「ふるさとづくり事業」では、まず、みしま中央団地内に(仮称)中央公園を整備します。

中央公園は、面積1・5ヘクタールで、町民バザール(青空市場)広場や中央広場、芝生広場を設けて、さまざまなイベントを催したり、町民花壇などを備え、町民が親しみやすい町のシンボリックな公園として整備します。すでに工事は昨年12月に着工され、平成8年3月に完工する予定です。

緑地整備で うるおい空間の創出

うるおいとやすらぎのある生活空間の創造、中でも、緑がもたらすうるおいは、魅力的なものであり、近年まちづくりの大きなテーマとなっています。現在進んでいる中央公園の整

備に付随して、昨年度では、みしま中央団地内の幹線道路に緑地帯、道路照明を整備し、安らぎが得られる歩行空間と、調和のとれた居住空間の整備を進めました。さらに、本年度では黒川桜づつみ事業として、みしま中央団地内黒川堤防約400メートルに桜づつみ植栽を行い、水と緑の親水空間を整備します。

(仮称) 大杉公園の 実施計画を策定

大規模公園整備として、蓮花寺北河内地区において実施された「特定利用斜面保全事業」に伴い造成された山林地帯の平坦地を、今後、(仮称)大杉公園として整備します。大杉公園については、取付道路として昨年度公園南線(延長340m)を整備し、今年度は公園北線(310m)を整備する計画です。

公園の具体的な整備内容については、これまで地元蓮花寺の「検討委員会」や役場若手職員からの提案、コンサルタント(設計委託業者)の助言を受けていますが、本年度はこれらの

意見を参考に、実施計画を策定します。

人づくりと コミュニティへの助成

人材育成を推進するため地域づくり基金の運用益で、人材育成事業を展開します。主な事業として、県の行う地域づくり研修会などに参加する経費への助成や、地域づくりグループ「ふるさとづくり塾」への活動補助を行います。

そのほか、「花いっぱい運動」など、コミュニティ活動への助成を継続して行い、地域づくりを推進します。

盛りだくさんの 合併40周年事業

合併40周年の節目の年を迎え、記念事業として次の事業を実施します。

- ▼町民憲章の制定
新時代に向け、町民だれもが理想とするまちの実現をめざし、町民憲章を制定します。
- ▼町PRビデオの制作

民間企業に委託し、町の主なイベントや産業、日々の生活をビデオ撮影し、30分間のビデオを作成します。完成したビデオは町PRに利用します。

▼町の花の名刺印刷と販売
昨年12月、町の花とした「ハナミズキ」「カタクリ」をあしらった名刺(台紙)を印刷し、町民の皆様よりご利用願って、町のアピールを進めます。

▼ハナミズキの苗木全世帯配付
町の花とした「ハナミズキ」の苗木(樹高約1m)を町内全世帯に配付し、緑あふれるまちづくりを進めます。

▼南条町との交流事業
歴史上深いつながりのある福井県南条町と、イベントを通じて交流、両町間の歴史探訪などを実施し、今後両町間の友好関係を深めていきます。

▼合併記念町勢要覧の発行
町勢要覧の改訂版を発行し、全世帯に配付します。

▼合併記念行事
11月3日から5日にかけて合併40周年記念行事を開催します。このなかで、「全国みしまフェア」として、みしまの名のつく4市町を招へいます。具体的な内容は今後検討します。

重点施策 - 3

文化・教育の充実

みしま中央会館内に

「郷土資料館」を内部整備

手引鋸がメインの郷土資料館を整備

芸術セミナーとして 絵画教室を開講

一昨年に完成したみしま中央会館2階に郷土資料館を内部整備し、町の文化遺産の保存とPRに務めます。

郷土資料館は、当町が全国四大産地のひとつとして知られる手引鋸を主体に、西部丘陵一帯の森林地域から生産される豊富な木材、これらから発達した宮大工の技術などを歴史をひもときながら展示します。みなさんからより親しみを持ってもらえるよう、マスコットキャラクター「クルミマルくん」を決め、入館者の増を図ります。



「クルミマル」は根立遺跡から出土したクルミの実にちなみ、名づけました

日吉小学校の教育環境を整備

教育施設の整備は、第三次総合計画に基づき、これまで脇野町小学校プール、三島中学校体育館改築を実施し、昨年度で日吉小学校校舎、体育館の改築が終了しました。今年度では、同校のグラウンド整備工事と校舎周辺の道路整備を実施します。

教育施設整備では、近い将来脇野町小学校の改築を予定しています。同校の改築には多額の財源が必要ことから、今年度で、その財源確保のため8千万円を基金に積み立てるほか、改築に向けた基本調査を行います。

重点施策 - 4

まつり活性化と産業の振興

まつり用「こどもみこし」を各地区が購入・設置



ふるさと農道 (平成7年度着工)
計画区域

大字みこし14基と 大みこし2基を製作

夏の一大イベントである三島まつりは、関係団体の代表者らからなる「まつり委員会」が企画、運営し、その活性化策を検討しています。

今年度は、そのひとつとして、大字みこし(子ども用みこし)14基を各地区に配置していただくほか、大みこし2基を製作し、まつりの盛り上がりを図ります。また、前夜祭も有名歌手によるイベントを考えるなど、全体的な活性化を進めます。

南部地区 ほ場整備事業で 幹線農道を整備

農業基盤整備については、昨年度から上岩井、七日市、鳥越の当町南部地区において、県営ほ場整備事業が実施されています。この事業は、ウルグアイラウンド農業合意に基づく農業予算の大幅な増額により平成6年度の補正予算で工事費9億円余りが追加されるなど、事業が大

商工業者研修制度に 助成

水田営農活性化対策では、農家に対する今年度の指標面積を合わせた目標面積は、約118ヘクタールで、昨年より約19ヘクタール多くなっています。南部は場の整備全面積が、転作扱いとなるため、町全体が過剰転作となりますので、これらの事情を考え、集落間調整、町村間調整を進めます。

農村総合整備モデル事業では、七日市から鳥越へ通ずる集落道3号線の整備を進めます。

重点施策-5

安全で明るいまちづくり

市街化区域
(脇野町、吉崎、上岩井の一部)
街路灯を一斉更新

明るくなる市街地空間



安心して暮らせるまちづくりに防犯灯

町民が安心して暮らせる犯罪のない明るいまちを築くためには、家庭、学校、事業所をはじめとした町ぐるみの防犯体制の確立が必要です。その一つに、防犯灯の設置を行っています。生活道路や児童生徒の通学路の安全を確保するため、今年度も中条線(中条-新保)に防犯灯を設置するのをはじめ、各大字からの要望箇所には防犯灯を取り付けます。

防犯灯維持管理
補助金を交付

町内に6年度末で739基の防犯灯が取り付けられています。今年も防犯灯の維持管理補助金として1基あたり1,500円を各大字に交付します。

新保、鳥越で
消防施設の整備

火災や地震などの災害から町民の生命を守り、安心して暮らせる豊かな地域社会を築くため、消防車庫や消防ポンプ自動車など、消防施設の整備に努めています。今年度は、消防コミュニティセンター(消防車庫兼集会所)を鳥越地区に建設し、防火水槽を2基(鳥越・新保)に設置します。

困難な状況にある消防団員確保のため、平成8年度から役員職員の入団を解禁することにしました。

大字別防犯灯設置数

6年度末現在

大字名	灯数
鳥越	143
七日市	44
上岩井	36
吉崎	63
脇野町	126
中条	11
新保	36
大野	22
下河根川	14
瓜生	26
蓮花寺	41
中永	7
上条	36
逆谷	33
気比宮	42
藤川	35
宮沢	24
合計	739

重点施策-6

生活基盤の整備

蓮脇線400メートルを改良
宅地開発(宮沢土地区画整理事業)を推進

主要町道と施設関連の道路を整備

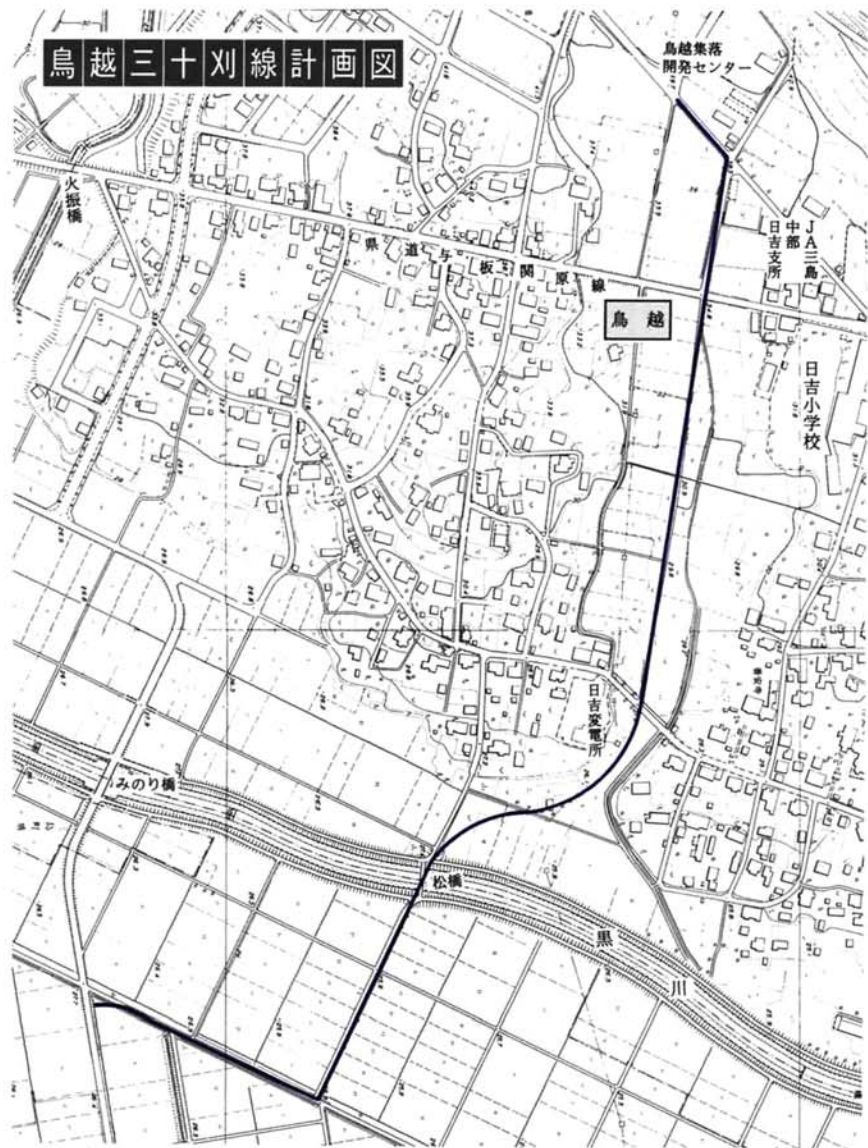
町民の生活に直結する町道の整備は、国庫補助事業を導入し、毎年積極的に進めています。今年度は、これと合わせ、日吉小学校とデイサービスセンターの整備に連関する道路整備を実施します。

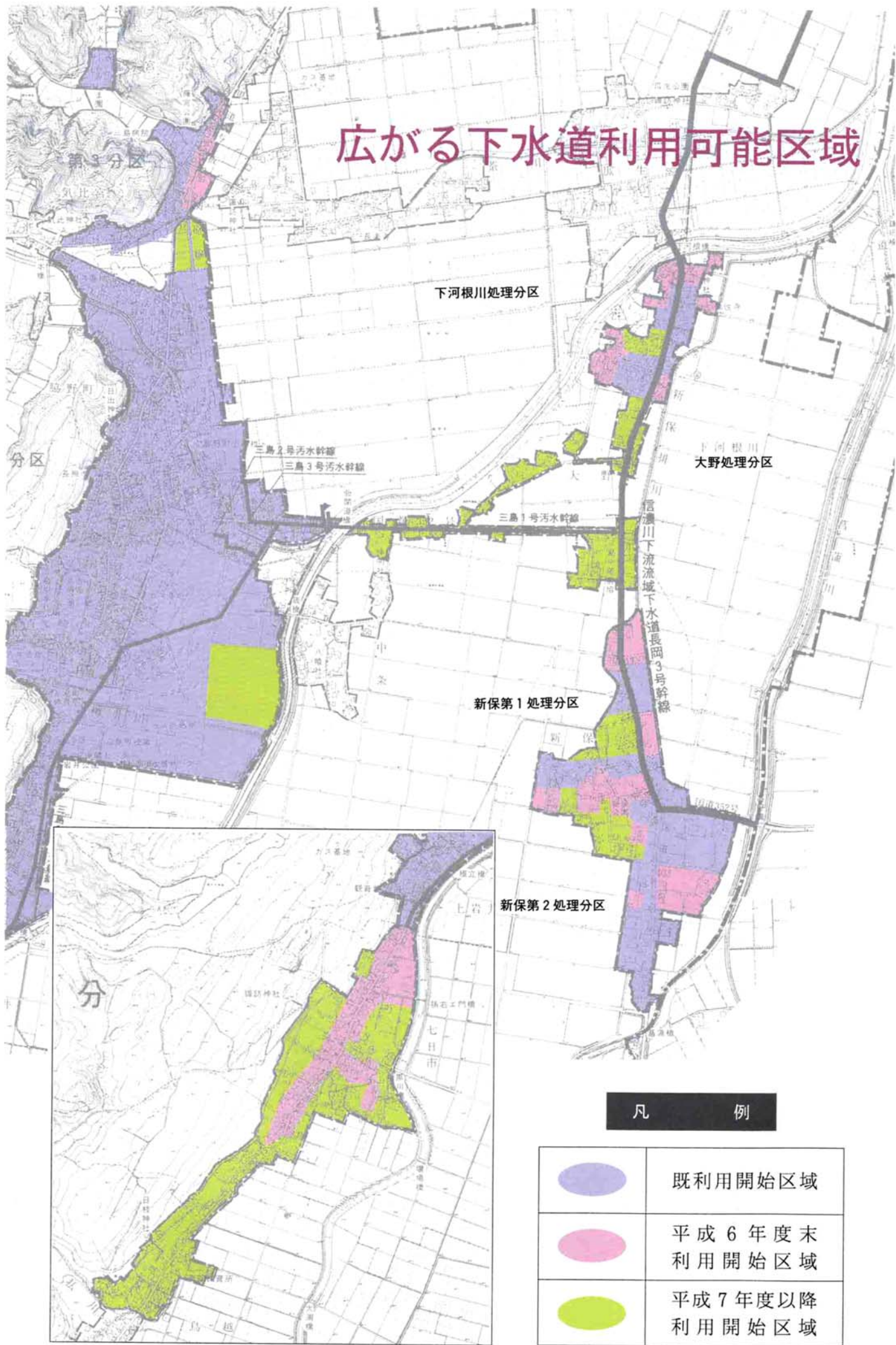
- 補助事業
- ▼蓮脇線改良 400メートル
- 単独事業
- ▼鳥越三十刈線(県道中永宮本線(黒川)) 新設840メートル
- ▼日吉小学校周辺道路 新設390メートル
- ▼鳥越南地区集会所前道路 改良35メートル
- ▼デイサービスセンター乗り入れ道路 新設100メートル
- ▼宮沢土地区画関連道路 改良50メートル

都市計画区域
用途地域の見直し

限られた資源である土地の有効利用を図ることは、魅力あるまちづくりに欠かせない基本的な要素といえます。

今年度は、都市計画区域の新しい用途地域への移行作業に取り組み、さらに、今後の市街地の秩序ある開発、調和のとれた住環境づくりを進めるマスタープラン策定作業を行います。

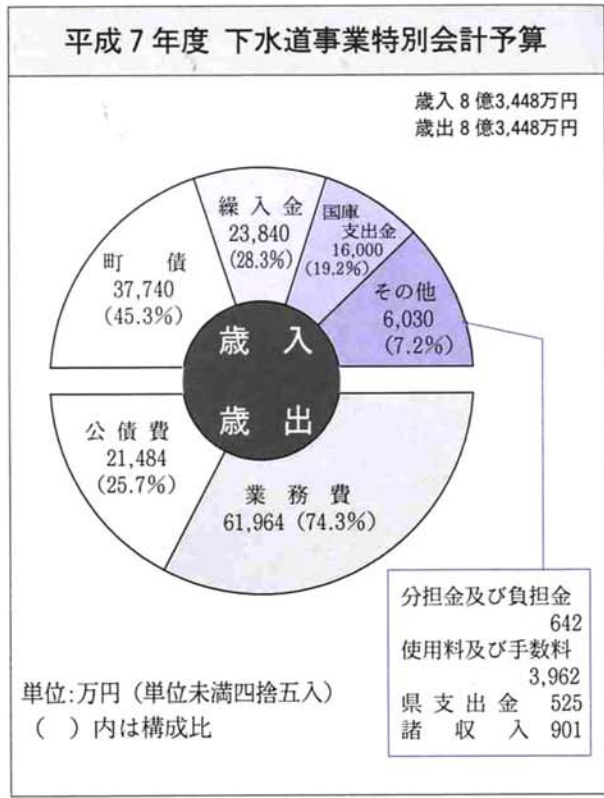




利用可能区域が10・7ヘクタール拡大

美しい自然、快適な生活環境を守る下水道事業

三島町は、恵まれた自然環境を大切に、豊かで快適な生活環境づくりを進めるため、下水道の整備を推進しています。
 平成元年五月から一部供用開始となった三島町の下水道は、年々整備が進み、本年3月末には処理区域面積146ヘクタールとなりました。
 本年度の下水道事業特別会計は右グラフのとおりで、新たに10・7ヘクタールが供用開始となる予定です。



工事現場では安全運転を

下水道工事では道路の掘り起こしにより、やむをえず交通規制(片側通行)をしなければなりません。
 工事現場では、スピードをひかえめに、安全運転を励行してください。また、付近での駐車はご遠慮願います。
 皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

受益者負担金にご理解を

下水道事業は、国・県からの補助金、町費(税金、借入金)や、下水道整備によって直接利益を受ける方々からの受益者負担金などでまかなわれています。公共下水道事業は、不特定多数の人が利用できる道路や公園

受益者負担金は1平方メートル当たり700円

受益者負担金は、土地の面積に応じてかかります。土地の用途が異なっても変わりません。
 700円×土地の面積(㎡)
 ※最高限度661㎡/1筆

処理区域内の排水設備工事はお早めに!

ご家庭のトイレ等の水洗化は、供用開始の日から3年以内に水洗化することが義務づけられています。まだ、下水道に接続されていない方は、左記指定工事店にご相談のうえ、水洗化の工事を行ってください。

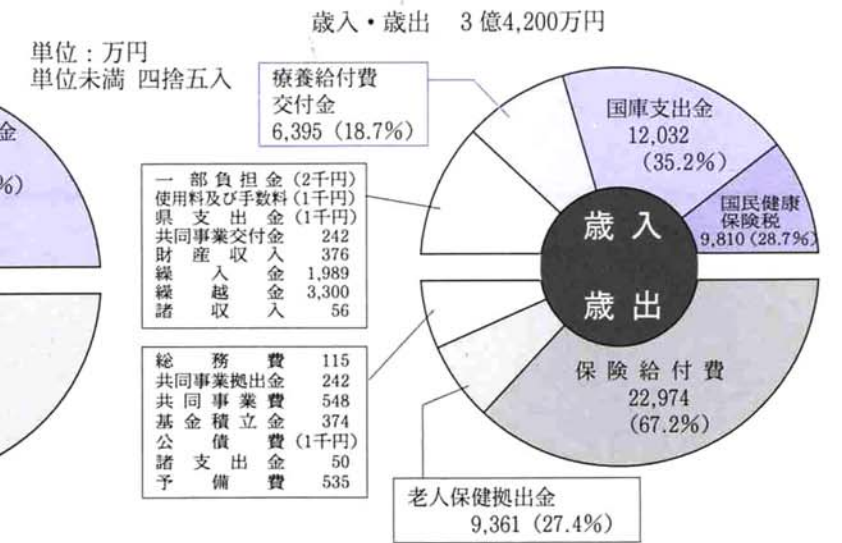
□ 町指定工事店(順不同)

- (有) 大島鉄工所(脇野町)
- (有) 高野組(脇野町)
- (株) 山長組(脇野町)
- (株) ナンバ(新保)
- (有) ナカノ住器(逆谷)
- (有) 稲建土木興業(鳥越)
- (有) 中野設備工業(藤川)
- (有) 三島電設工業(鳥越)
- (株) エレクナラバ(鳥越)
- (有) 片桐設備(中条)
- (有) 片桐産業(脇野町)
- (有) 長信工業(吉崎)
- (有) 古井丸建設(脇野町)

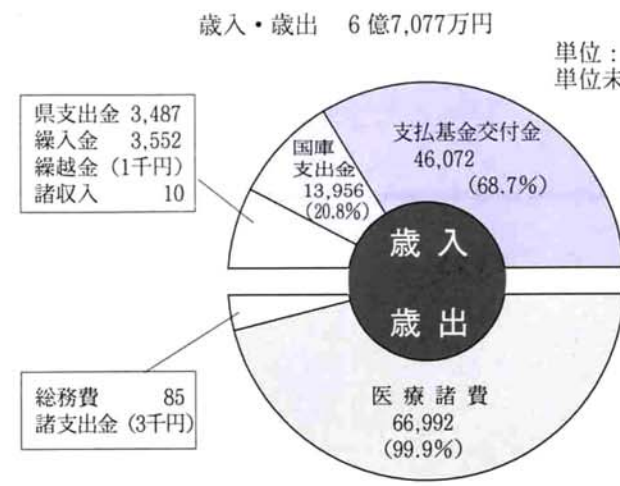
排水設備工事に利子補給

排水設備工事はすべて個人負担となります。工事費用を借り入れる場合、町が利子補給する制度がありますので、希望される方は町内金融機関へお問い合わせください。

平成7年度国民健康保険特別会計



平成7年度老人保健特別会計



国民健康保険

相互扶助制度

病気やケガは、いつ起きるかわかりません。そんなときに心要なのが医療費です。
 国民健康保険（国保）は、いざというときに困らないよう、あらかじめ加入者がそれぞれにお金を出し合っており、医療費にあてる相互扶助制度です。

いざという ときのために

- ▼自分が勤めている会社などに健康保険があれば、本人や家族はこれに加入しますが、それ以外の人は、一人一人が国保の加入者となります。
- ▼加入は、世帯ごとで、一世帯に一枚の保険証を交付します。ただし、退職者医療制度に該当する方は、別の保険証を交付します。
- ▼なお、退職などで会社の保険資格がなくなったときには、すぐに届けて出してください。もし、遅れた場合には病気になることも保険証が使えないので、全額自己負担となる場合があります。保険料もさかのぼって納めなければなりません。
- 医療費などの給付
 - 加入者が、病気やケガをしたとき、国保を扱う病院で保険証を提出すれば、次のような一部負担金を支払うだけで、残りは国保で負担します。
 - ▼一般被保険者 3割
 - ▼退職被保険者 3割
 - 本人 2割
 - 家族外来 3割 入院 2割
 - 療養費の支給
 - 次のような場合などは、申請によって審査後に支給します。
 - ▼やむをえず、保険証で治療を受けられなかったとき
 - ▼看護の費用（事前承認が必要）
 - ▼移送の費用（事前承認が必要）
 - ▼生血の輸血をした場合
- 高額療養費の支給
 - 病気がけがで、医療機関にかかり、一定額を超える高額療養費の自己負担金を支払わなければならない場合、申請すると、その額を超えた分を、国保があとから支給します。
- 葬祭費の支給
 - 国保の加入者が亡くなったときには、葬祭を行った人に対して8万円を支給
- 出産育児一時金の支給
 - 国保の加入者が出産したときに、30万円を支給
- 高額の医療費の支給
 - 病気がけがで、医療機関にかかり、一定額を超える高額療養費の自己負担金を支払わなければならない場合、申請すると、その額を超えた分を、国保があとから支給します。
- 高額療養費の支給
 - 同一月に医療機関別、入院・通院別に自己負担額が、1人63,000円（町民税非課税世帯の場合は35,400円）を超えるとき。
 - 同一世帯の人が、同一月内に医療機関にかかり、1人30,000円（町民税非課税世帯21,000円）以上の自己負担額が複数あった場合、合算して63,000円（町民税非課税世帯35,400円）を超えたとき。
 - 1年以内に高額医療費の支給を4回以上受けている場合、4回以降からは自己負担額が37,200円（町民税非課税世帯は24,600円）を超えたとき。

粗大ごみ処理施設が完成

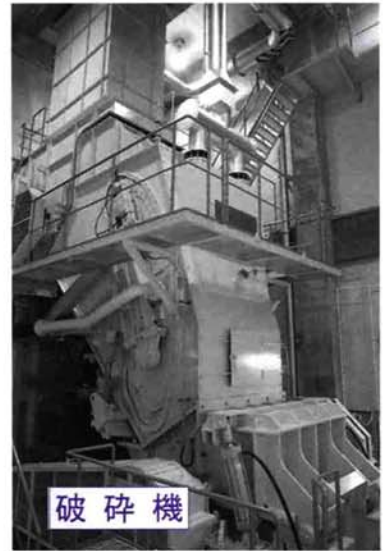
資源のリサイクルを推進

三島町、長岡市、越路町からなる長岡地区衛生処理組合が平成5年度から建設を進めていた、粗大ごみ処理施設が鳥越ごみ処理場に完成。今月13日から稼働します。これは、年々増加する粗大ごみや不燃物の再利用に努め、埋立地の延命化を図るためのもです。

この処理施設では、一日5時間の稼働で50トンの粗大ごみと不燃物を処理します。これらは破碎して選別機にかけられ、可燃物、不燃物、鉄、アルミ、プラスチックの五種類に分別され、可燃物は焼却し、鉄、アルミは資源として回収、そしてプラスチックは容積を減らして固め、不燃物とともに埋め立てます。この処理施設では、廃棄された冷蔵庫等からフロンを回収した後には破碎処理します。

《粗大ごみの収集回数を増やす
燃やさないごみも通年収集へ》
 町の燃やさないごみ（不燃）は18日からこの処理施設に搬入、処理され、その後は原則として通年収集します。

さらに粗大ごみも、従来の年3回から年4回に収集回数を増やします。



破碎機

ごみは破碎機の中で細かく砕かれ処理されます。

《事故防止にご協力を》

- ごみ収集、処理業務中の事故を防ぐため、次のことにご協力ください。
- カセットコンロのボンベ、ヘアスプレー等のスプレー缶は必ず穴を開け、残りのガスを抜いてから出す
- 石油ストーブは、必ず灯油を抜き、電池を取り外してから出す
- 灯油、シンナー等油類の容器は、完全に空にしてから出す
- ごみは、段ボール箱や黒い袋に入れて、透明・半透明の袋に入れて出す

粗大ごみ 年4回の収集に

燃やす（可燃）ごみの収集（週三回）

毎週月・水・金	吉崎・脇野町・蓮花寺・中永・上条・逆谷・気比宮
毎週火・木・土	鳥越・七日市・上岩井・中条・新保・大野・下河根川・瓜生・藤川・宮沢

燃やさない（不燃）ごみの収集（月二回）

第1・3火曜日	脇野町（学校町を除く）
第1・3水曜日	蓮花寺・中永・上条・逆谷
第1・3木曜日	鳥越（唐崎、町向を除く）
第1・3金曜日	鳥越（唐崎、町向）・七日市
第2・4火曜日	上岩井
第2・4水曜日	吉崎・脇野町（学校町）
第2・4木曜日	中条・新保・大野・下河根川
第2・4金曜日	瓜生・気比宮・藤川・宮沢

粗大ごみの収集日（年四回）

3・11・8・5月	第1月曜日	脇野町
	第2月曜日	七日市・上岩井・吉崎
	第3月曜日	鳥越
	第4月曜日	中条・新保・大野・下河根川・瓜生・蓮花寺・中永・上条・逆谷・気比宮・藤川・宮沢

注）それぞれの粗大ごみの収集日が祝日・振替休日になる場合は、処理場の点検等で臨時に休ませていただくことがあります。

1年前

平成6年（1994年）夏撮影



24年前

昭和46年（1971年）秋撮影



昭和から平成へ

空から見る“写”り変わり

三島町は、土地の秩序ある利用、計画的な開発を進める地域として、昭和45年2月都市計画区域に指定されました。同年9月には、市街化区域（脇野町、吉崎、上岩井の市街地形成区域）、市街化調整区域（そのほかの都市計画区域）が決定し、以降公共施設の有効適切な整備が進められています。

県道と板関原線のバイパス工事は、昭和46年8月に上岩井-脇野町間が完工し、全線（上岩井-藤川間）が開通したのは50年8月のことです。

合併後 10年



昭和31年11月2日の文化祭で、七日市青年会と鳥越の青年会有志は、三輪車（トラック）にお城の山車をつくり、七日市から上岩井の間を練り歩きました。
折り返し地点の上岩井公民館前では、日吉地区の合併を喜ぶ地元の人たちが通用門を造り、熱烈に出迎えました。
写真提供：青柳三夫さん（七日市）



四十年をひもとく

私たちの住むこの「まち」が「三島町」となったのは、昭和三〇年のこと。町民だれもが新しく誕生したばかりの町に対して、夢と希望に胸をふくらませていたことでしょう。

あれから四〇年。しかし、ここまでの道のりは決して平坦なものではありませんでした。初めて水道が使用できるようになった喜びと驚きの日もあれば、自然災害に町中がうちのめされた日もありました。それでもここまで歩んでくることができたのは、生まれたばかりの赤ちゃんが家族の深い愛情に包まれてスクスクと育つように、町民の多大な力に支えられてきたからなのです。

今、四〇年という節目を迎えた三島町。人と自然の調和のとれたまちづくりに対する町民ひとりひとりの思いは四〇年前も今も変わりありません。



昭和36年8月の集中豪雨で水びたしとなった下河根川集落付近。この年、わずかにとれた乳白米は、とても食べられたものではなく、政府から2か月分の配給米が農家に支給されました。

写真提供：花沢隆司さん（千葉県市川市）



第2室戸台風（昭和36年9月16日、台風18号）で倒れた吉崎諏訪神社境内の杉の木と鳥居（写真右）。下敷きとなった拝殿と神輿堂は、その後、地元住民が一致協力し、建て変えられました（写真左）。 写真提供：小林新太郎さん（吉崎）



昭和38年の豪雪では、災害救助法が発動され、自衛隊による懸命の除雪作業が続けられました。
写真提供：小林誠三郎さん（吉崎）

39年

- 信濃川左岸用水工事完了（三月）
- 新潟地震（負傷三名、家屋全壊一〇戸）災害救助法発動（六月）
- 日吉小学校プール竣工（七月）
- 蓮花寺・中永・逆谷上水道給水（一五七戸）（七月）

38年

- 集中豪雨により災害救助法発動（二月）
- 町長に田口半次氏就任（五月）
- 上条・七日市地区上水道給水（二六六戸）（九月）
- 鳥越地区上水道給水（一一一戸）（一〇月）
- 黒川湛水防除事業設立組合発足（一〇月）

37年

- 上水道給水開始（八八三戸）（一月）
- 天然ガス開発始まる（氣比宮）（二月）

36年

- 集中豪雨による河川氾濫、山崩れなど被害甚大、災害救助法適用、自衛隊出動（八月）
- 第二室戸台風による被害倒木多し災害救助法発動（九月）

35年

- 上水道事業認可となる（一月）
- 日吉中学校を三島中学校に統合（四月）
- 上岩井西照寺親鸞上人像、国重要文化財に指定される（六月）
- 三島町で初めて除雪ブルドーザ配備（一〇月）

34年

- 町長に小林廣司氏就任（五月）
- 黒川堤防決壊、中条・脇野町床上浸水四二戸
- 脇野町小学校プール竣工（七月）
- 天津小学校で完全給食開始（一〇月）

33年

- 校区変更により、大字七日市生徒は三島中学校に編入（四月）

32年

- 第一回三島まつり（八月）
- 蓮花寺・後谷線全線開通（八月）

31年

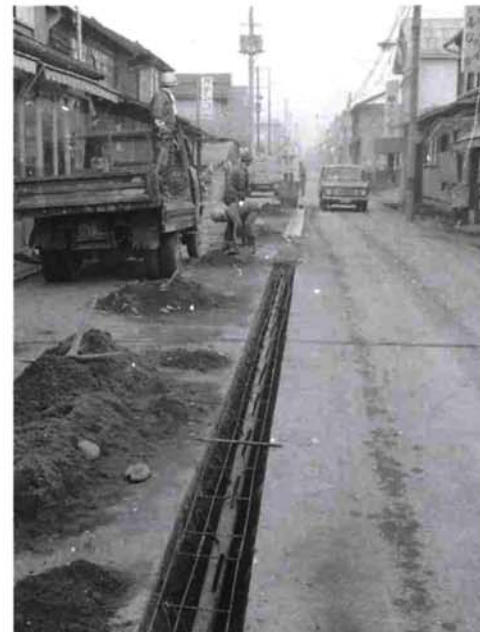
- 日吉村鳥越・七日市、三島町に編入合併（九月）
- 全国青年大会で三島町演劇研究会が最優秀賞を受賞（赤い星）（十月）

30昭和

- 脇野町と大津村の一部が合併、三島町となる（三月）
- 町村合併により、組合立中学校を三島町立三島中学校と改称（四月）
- 渡辺保氏初代三島町長となる（五月）
- 町議会議員選挙定数二三名（八月）

合併後 20年

昭和46年8月、吉崎千石原遺跡の発掘調査が行われました。千石原遺跡は、現在のスポーツ広場野球場ライト付近で、写真奥に見える屋根は、三島中学校の旧体育館の屋根。



無雪道路の実現を目指し、消雪パイプの敷設工事が昭和43年12月脇野町中心部で初めて行われました。消雪パイプの総延長は現在26,075メートルに伸びています。



事業費 5,700万円で三島町体育館が完成したのが、昭和44年3月。その後、56年に3階の増改築工事が行われ、現在の姿となりました。



昭和47年5月25日、全国植樹祭にご臨席されるため来県された昭和天皇、皇太后様が、町体育館にお立ち寄りになりました。町民の熱狂的な歓迎に応えられながら体育館にお入りになった両陛下は、混合バレーボールの練習を終始にごやかにご覧になりました。



昭和41年4月に開所したひばり保育所は、鳥越の浄運寺から日吉小学校に場所を移し、「日吉保育所」と改称されました。



町道逆谷線の改良及び舗装が、昭和48年6月に完工しました。翌年の49年には一般県道（阿弥陀瀬上条線）に昇格しました。

- | | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|---|---|---|--|---|
| <p>49年</p> <ul style="list-style-type: none"> 町営ガス供給区域を拡張（氣比宮・藤川・宮沢）（二月） 阿弥陀瀬上条線県道に昇格（二月） | <p>48年</p> <ul style="list-style-type: none"> 「体力づくり受賞記念第一回スポーツ大会」を開く（二月） 三島町の木に「杉」を決定（三月） 町営ガス供給区域拡張（上岩井・七日市・鳥越）（四月） 献血事業推進により全国表彰を受ける（七月） | <p>47年</p> <ul style="list-style-type: none"> 町営ガス事業認可となる（三月） 町営火葬場を開設、霊柩車配備（四月） ゴミ収集事業を業者に委託（四月） 北蒲内平での全国植樹祭に天皇、皇后帰途町体育館に立寄られ男・女混合バレーをご覧になる（五月） 町長に河内弘二氏就任（六月） 総合福祉センター竣工（八月） 町営ガス事業供給開始（三八八戸）（九月） 体力づくり国民会議議長賞受賞（十月） 三島町総合計画基本構想を決定（二月） | <p>46年</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話、自動化される（一月） 農業振興地域の指定を受ける（二月） し尿採取集事業開始（業者委託）（四月） ひばり保育所を日吉保育所と改称（四月） 吉崎千石原縄文遺跡発掘調査（八月） 脇野町・上岩井バイパス完成（八月） | <p>45年</p> <ul style="list-style-type: none"> 与板高等学校定時制脇野町分校閉校（三月） 蓮花寺七社宮の大杉、県文化財天然記念物として指定される（四月） 都市計画、市街化区域、市街化調整区域が決定される（九月） | <p>44年</p> <ul style="list-style-type: none"> 三島町体育館竣工（三月） 里山再開発パイロット事業の指定をうける（十月） | <p>43年</p> <ul style="list-style-type: none"> 町消防団卒頭授受賞（三月） 町広報紙「三島町だより」創刊（四月） 町に初めて消雪パイプを敷設（脇野町地内）（二月） | <p>42年</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒川湛水防除事業完工（三月） 体育指導委員制度発足（四月） 公民館振興員制度発足（四月） 上水道貯水ダム竣工（十月） | <p>41年</p> <ul style="list-style-type: none"> 天津小学校、脇野町小学校に統合（四月） 町立天津保育所を開所、私立「ひばり保育所」を町立に移管（四月） 町消防団、自動車隊を編成（六月） | <p>40年</p> <ul style="list-style-type: none"> 町営ゴミ収集事業開始（四月） 県道与板・関原線バイパス工事（上岩井地内）着工（四月） 天津小学校に町営プール竣工（七月） 三島町「交通安全町」を宣言（七月） 三島中学校完全給食実施（八月） 三島町章を制定（十月） 農集電話を脇野町・大津地区に設置（二月） |
|--|--|---|--|---|---|---|---|--|---|

合併後
30年



三島中学校の現校舎は、49年7月に起工し、50年6月に完工しました。新しい教室には生徒の笑顔がいっぱい。



県道与板間原線のバイパス工事は、46年8月に、上岩井―脇野間が完工し、50年8月には脇野間―氣比宮間が完工しました。(写真：右側建物は商工会)



“チョウテツ”の愛称で親しまれた長岡鉄道（現越後交通、西長岡―寺泊間）は大正5年に開通し、昭和50年3月をもって廃止となりました。



特別養護老人ホーム「みしま園」が57年4月1日開所。5月19日、竣工式が行われました。



北部保育所は52年12月に建設工事が終わり翌53年2月1日に喜びの竣工式が行われました。4月、「天津保育所」から正式に「町立北部保育所」として発足しました。



町営火葬場は、中条線（中条―新保間）に昭和47年4月に開設され、56年3月に廃止されました。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|--|--|--|---|
| <p>59年</p> <ul style="list-style-type: none"> 三島町持家住宅緊急対策資金制度制定（三月） 町長に遠藤榮門氏就任（六月） | <p>58年</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤町久保田土地区画整理事業認可（七月） 郵政省NHK夏季巡回ラジオ体操会、脇野町小学校で開催（八月） | <p>57年</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム「みしま園」開所（四月） 県道長岡―出雲崎線国道三五二号に昇格（四月） 芝峠航空レジャー開所（四月） | <p>56年</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次三島町総合計画を策定（三月） 町営火葬場を廃止（三月） 南部保育所が認可され開所（鳥越）（四月） 組合立与板郷消防事務組合に加入（四月） ほ場整備事業完了（藤川の茶川以北二八ヘクタール）（八月） 水道拡張工事完了（信濃川より取水）（九月） | <p>55年</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業共済事業、町に移譲（四月） 三島中学校プール竣工（八月） 三島地区ほ場整備協議会結成（八月） 鳥越に保育所を新築（二月） | <p>54年</p> <ul style="list-style-type: none"> 与板町・和島村水道企業団に加入（四月） ガス事業団事務所竣工（七月） | <p>53年</p> <ul style="list-style-type: none"> 町消防団・消防庁長官の卒頭授受賞（三月） 水田利用再編対策事業始まる（三月） 天津保育所を閉鎖し、北部保育所開設（四月） 三島町・与板町ガス企業団を設立（四月） 町営ガス事業完工（町内全戸供給）（十月） 脇野町小学校体育館竣工（一月） | <p>52年</p> <ul style="list-style-type: none"> 法華寺仏像外四件町文化財に指定（九月） 天津小学校跡地に保育所新設（二月） | <p>51年</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一回自治功労者表彰式（三月） 町に初めて交通信号機が設置される（八月） 三島町町史編さん事業始まる（十月） 異常冷夏多雨のため水稲大減収（十月） | <p>50年</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土資料館開館（旧北銀支店跡）（四月） 西山連峰開発道路開通（五月） 三島中学校グラウンド完成（七月） 三島中学校新校舎竣工（七月） |
|---|---|---|---|---|---|--|--|--|---|

合併後 40年



大正15年に建設された役場旧庁舎は、平成元年の新庁舎完成により、平成2年3月に解体。跡地にみしま交流センターが完成したのは3年10月のことでした。



商工会青年部員ら24名の町民が、米国ニューヨーク・マンハッタン島のバッテリーパークに出向き、もちつきや神楽舞を披露した海外研修事業。「東方見聞録」と題されたこの海外イベントは、マスコミでも大きく取り上げられました。

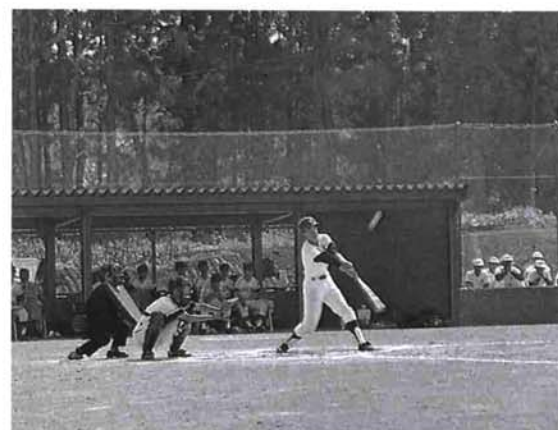


昭和61年、鳥越、新保、吉崎・上岩井地区の土地画整理事業が相次いで着工されました。写真は、63年6月の新保地内。



多数の町民が集まったふるさとソング「三島音頭」「三島慕情」の発表会（平成3年1月27日）

新庁舎建設に伴い、日吉支所は平成元年3月に廃止されました。跡地には新しく鳥越駐在所が建設されます。



スポーツ広場野球場が昭和63年5月完成。与板高校、長岡商業高校野球部を招いてグラウンド開きを行いました。



「新潟県総ぐるみ田植えの日」（昭和63年4月28日）では、アトラクションに神楽舞保存会の皆さんが登場。故郷県知事の記念田植えが行われました。

6年

- 日吉小学校新校舎が完成（三月）
- 三島町保健福祉計画を策定（三月）
- 東京都葛飾区堀切国民学校集団疎開児童との交流会（十月）
- 日吉小学校屋内体育館が完成（十一月）
- オリジナル年賀状が発売される（十一月）
- 町の花が「カタクリ」「ハナミズキ」に決まる（十二月）

5年

- 長岡地方拠点都市地域指定（二月）
- 信濃川左岸県営ほ場整備事業三島地区ほ場整備事業完了（三月）
- 三島中学校屋内体育館が改築（三月）
- 「山本橋」「緑橋」が開通（三月）
- みしま中央会館（農村環境改善センター・郷土資料館）が竣工（九月）
- 国道三五二号道路改良（中永トンネル）着工（十月）
- 北越銀行体育館竣工（十一月）

4年

- 移動系防災行政無線設置（一月）
- 長岡地域テレピア指定（二月）
- 公共下水道事業計画変更認可申請（三月）
- 首都圏みしま会が発足（五月）
- 三島町中央土地区画整理事業着工（七月）
- 街かど景観事業で脇野町バス停留所が修復（八月）
- 吉崎道下土地区画整理事業着工（十月）

3年

- ふるさとソング「三島音頭」「三島慕情」の発表会（二月）
- 第3次三島町総合計画が答申される（三月）
- 三島市々制五十周年記念事業全国三島市町村フェア参加（五月）
- スポーツ広場野球場にナイター施設できる（十月）
- 県知事とのふれあいトーク開催（十月）
- みしま交流センター（三島共同福祉施設）竣工（十月）
- 脇野町小学校プール竣工（十月）

2年

- 旧庁舎が解体撤去される（二月）
- 地区再編農業構造改善（三島西部地区）事業完工（三月）
- ほうろく条例に基づく「功労者授賞式」挙行（九月）
- 青色申告と振替納税推進の町を宣言（十一月）

平成元年

- 役場日吉支所廃止（三月）
- 三島中部農協、日吉農協合併（三月）
- 公共下水道事業が、脇野町、吉崎と上岩井の一部で供用開始（五月）
- 役場新庁舎、保健センター竣工（六月）
- ふるさと創生事業審議計画書が報告される（十月）
- スポーツ広場テニスコート、ゲートボール場完成（十一月）

63年

- 農村総合整備モデル事業認可採択（四月）
- 県知事を迎えて「新潟米総ぐるみ田植えの日」行事が行われる（四月）
- スポーツ広場野球場完成（五月）
- 町長に河内忠彦氏就任（六月）
- 役場庁舎建設始まる（七月）

62年

- 鳥越一般廃棄物最終処理場が完成（四月）
- 県道中永宮本線「中永橋」開通（十一月）

61年

- 全国町村会より優良町村として表彰される（一月）
- 長岡地区衛生処理組合鳥越事業所が完成（三月）
- 鳥越土地区画整理事業着工（七月）
- 新保土地区画整理事業、吉崎・上岩井土地区画整理事業着工（八月）

60年

- 第一回西山連峰登山マラソン大会開催（五月）
- 公共下水道事業着工（九月）
- 都市計画区域変更（十月）
- 全国学校給食優良校として三島中学校文部大臣表彰受賞（十月）



水と緑と文化の街三島を象徴する楽寿園

昭和三十年に脇野町、大津村が合併し、三島町が誕生いたしました。今年で四十周年という記念の年を迎えられましたことに、友好市の市長として、三島市民を代表し、町長をはじめ町民の皆様に、心からお祝いを申し上げます。



静岡県三島市
石井 茂 市長



桜の名所でもある当市のシンボル上山城

町村合併四十周年おめでとうございませう。山市と歴史的に深い結び付きのある御地が、四十周年という記念すべき年を迎えられましたことは、私共にとりましても大きな喜びであります。これを機に、来るべき二十一世紀に向かって限り無く躍進するまちづくりが進められますとともに、貴町のますますのご隆盛と、皆様方のご多幸を衷心よりお祈り申し上げます、お祝のごあいさついたします。



山形県山市
永田 亀昭 市長

町村合併四十周年おめでとうございませう。山市と歴史的に深い結び付きのある御地が、四十周年という記念すべき年を迎えられましたことは、私共にとりましても大きな喜びであります。これを機に、来るべき二十一世紀に向かって限り無く躍進するまちづくりが進められますとともに、貴町のますますのご隆盛と、皆様方のご多幸を衷心よりお祈り申し上げます、お祝のごあいさついたします。



愛媛県大三島町
菅 省三 町長

合併四十周年おめでとうございませう。三島町におかれましては、町村合併四十周年の記念すべき年を迎えられることになり、心からお喜び申し上げますとともに、貴町の今後ますますのご発展と、町民皆様のご健勝をご記念申し上げます。



古へのロマンを語る大山祇神社の大楠



愛媛県伊予三島市
篠永 善雄 市長

この度は、合併四十周年おめでとうございませう。同名の交誼により、深く交友を賜っております当市と致しまして誠に慶びに堪えません。今日、貴町は輝かしい発展を遂げられておりますが、これも実直で勤勉な町民の皆様が、天与の優れた自然の恵みを生かしご尽力された賜物と、深く敬意を表します。今後、貴町の益々のご発展と、当市との友好関係が一層深まらんとを心より祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。



約30万本のコスモスが咲き誇る翠波高原



無垢の自然が息づく島（硫黄島）

町村合併四十周年を迎えられるに当たり、心からお祝いを申し上げます。合併以来幾多の困難を克服され、新たな地方自治体づくりに努められめざましい発展を続けて今日を迎えたものと存じます。これもひとえに町ご当局、町民一体となつてのご精進に心から敬意を表しますとともに、この記念日を契機に更に豊かな町づくりのために一層のご繁栄を心から祈念いたします。



鹿児島県三島村
栗原 正 村長



花蓮生産日本一をいかした花はす公園

貴町が、本年町村合併四十周年を迎えられるに当たり、心からお喜び申し上げます。当町の南東には国指定の史跡 仙山城跡があり、南北朝時代にここに拠った南朝の雄瓜生一族は先祖が貴町の出自という御縁で、今後、両町の地域間交流を積極的に進めたいと御相談しているところでもあります。よろしくお願いたします。貴町のますますの御発展と町民皆様の御健勝をお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。



福岡県南条町
坂川 彦太 町長

40

周年

おめでとう

友好自治体からのメッセージ

「定住人口」が増加している三島町は、活性化対策として「交流人口」の増にも着目し、全国の「みしま」と名のつく5市町村及び歴史上関係のある2市町と友好関係を深めています。合併四十周年の記念すべき年を迎えた三島町に、これらの市町村からメッセージをいただきました。



自然とのふれあい観光施設「美坂高原」

合併四十周年まことにおめでとうございませう。県は違えども同町名ということで、以前よりマラソン等で当町までおいでいただいたり、全国みしまフェアでの交流等徐々につながりが深まってきており、大変喜ばしい限りであります。このたびの貴町の合併四十周年記念事業を通じて、さらにお互いの地域の活性化が促進されることを切に念じお祝いのことばといたします。



福岡県三島町
佐藤 長雄 町長

古元安吉青安山小小
見井立原柳藤田坂池
太寿安一彰隆功
佳康徳美栄道夫一
雄(吉(上(七(鳥
崎)岩井)日市)越)

町や各地区の公民館活動の推進役として、次の27名の方々よりこの一年間ご活躍いただきましたのでよろしく申し上げます。(敬称略)

公民館振興員

小棚榑青青安小大高山
林橋澤柳柳立方桃埜田
幸義真淳和成彰通茂雄
夫臣理子代年久通茂雄
(三島中)(鳥越)(脇野町)(氣比宮)(七日市)(上岩井)(鳥越)(敬称略)

体育指導委員

町のスポーツ振興のため、次の10名の方々よりご協力いただいております。今後ともよろしく申し上げます。(敬称略)

- ▼ 野球協会
- ▼ 文化協会
- ▼ 三島町御神楽舞保存会
- ▼ 稲穂会(民謡)
- ▼ 葵会(踊り)
- ▼ むらさき会(踊り)
- ▼ すみれ会(踊り)
- ▼ のぎくコーラス
- ▼ 紅葉吟社(俳句)
- ▼ 囲碁クラブ
- ▼ 美術クラブ
- ▼ 松吟会 剣詩舞(詩吟)
- ▼ 藤よし会(踊り)
- ▼ 詩吟神風流吟栄支部みしま会将棋クラブ

なりましたか

夢咲く春、あなたも仲間になりましたか

西古塚片星大中
澤山田桐桐滝村
一利修芳正伸
浩夫樹夫一勝
(大)(新)(中)(吉
野)保条)野町

- ▼ 各種団体の紹介
- ▼ 野球連盟
- ▼ みしまクラブ(バレーボール)
- ▼ コスモテニスクラブ
- ▼ 三島フィックス(バドミントン)
- ▼ 走友会(ジョギング)
- ▼ 三島町スポーツ少年団
- ▼ みつば少年野球団
- ▼ 三島ジュニア剣道クラブ
- ▼ 三島ジュニア柔道クラブ
- ▼ 三島ジュニアバレーボールクラブ
- ▼ 三島町空手道クラブ

各種団体の紹介

高倉西小名外丸小片
埜重原熊古屋川山林桐
修尚泰均誠美樹学
治勉之弘均誠美樹学
(宮)(藤)(逆)(上)(中)(瓜
沢)川)谷)条)永)生)

汗流して気分そう快

町体育施設 ただいまオープン中



施設名	利用できる時	利用の申込方法	申込先
町体育館	午前9時～午後10時	利用したい日の3日前までに申し込みをしてください	町体育館 ☎42-2756
スポーツ広場 (野球場)	日の出～午後10時	利用したい日の1週間前までに申し込みしてください	
運動広場	テニスコート	日の出～午後10時	利用前に申し込みしてください
	ゲートボール場		
時間 午前9時～午後5時			

施設利用後は、次の利用者のために清掃を行ってください。
ごみは各自が持ち帰ってください。

きらめく汗の季節到来 運動施設の利用案内

学校開放『利用グループ』を募集します

球技等 軽スポーツ活動の拠点に...

是非御活用ください

- 対象
 - ・三島町在住または在勤者10名以上で構成し、かつ責任者が明確であるグループを原則とします。
 - ・予め三島町教育委員会並びに学校開放運営委員会の了承を得ている団体も同様です。
 - 開放施設
 - ・三島町立小・中学校の体育館及びグラウンド
 - 申込
 - ・所定の申請書に必要事項を記入し、利用の1ヶ月前に使用する学校の学校長を経由し教育委員会へ提出してください。
- ※利用手順等詳細については全て三島町教育委員会へご紹介ください。
- TEL 0258-42-2221 内線334
FAX 0258-42-2154 教育委員会宛

上巻、下巻が刊行

三島町史

40年目の節目を迎えた三島町。私たちのふるさとの歴史に改めてふれてみませんか？

三島町史上巻には、古代、三島町の生い立ちから、近世、戦前までの歴史と町の文化、風土などが収録されています。下巻は、戦後の民主主義制度における町行政の発展、町村合併の経緯、教育や産業の発展などがまとめられています。

三島町史は、教育委員会で頒布しています。

○頒布価格 上下巻セット1万円(税込)
○問い合わせ 教育委員会 内線333



春の人事異動

脇野町駐在に
長谷川さん



て次のとおりです。(敬称略)
團長 河内唯司(脇野町)
副団長兼教育主幹 小林一雄(上岩井)
訓練部長 山田文明(気比宮)
技術部長 大島 誠(脇野町)
予防部長兼旗手 奈良場義夫(鳥越)

彰男(下河根川)、諏訪田健一(新保)、中野信行(七日市)、奈良場広己(鳥越)、内藤久夫(鳥越)

新しい農業委員決まる

任期満了となった町農業委員は、公選による10人については3月14日告示されましたが、立候補者が定数と同数となり、無投票で当選が決まりました。その後、町議会が推せんする3名の委員と、農業団体が推薦する2名の委員が次のとおり決まりました。任期は3年。

(届出順、敬称略)

▼公選 樺澤泰二(脇野町)・高橋忍治(鳥越)・曾根孝次(気比宮)・羽倉保(新保)・田中伸一(瓜生)・池田剛(鳥越)・中村八太郎(七日市)・小林宏(上岩井)・小川金一(蓮花寺)

公民館長に 青柳孝一さん



大滝正見さんが本年3月で任期満了によって退任され、気比宮の青柳孝一さんが就任されました。任期は4月1日から2年間。



行政相談委員に 遠藤鐵四郎さん

で主催する講座、学級などを担当していただきます。

長らくお勤めいただきました片野平平さんが3月31日限りで退任され、新たに鳥越の遠藤鐵四郎さんが就任されました。毎日の暮らしの中で、役所で行っている仕事についての苦情や意見、要望などがありましたらお気軽に相談してください。相談は自宅(☎4615614)で受けておられます。

社会教育指導員に 齋藤昌子さん



社会教育指導員を、鳥越の齋藤昌子さんから勤めていただくことになりました。齋藤さんからは、主に公民館

教職員の異動

町内小中学校の先生の異動が次のとおりありました。

■新しい先生 (敬称略)
()内は前任校等

▼日吉小学校 教頭 松崎礎(新井市・にしき養護学校)、教諭 川瀬由美子(長岡市・関原小)

役場人事

4月1日付けで次のとおり役場職員の異動がありました。

()内は前所属(職)

◎異動 福祉課長 原文一(建設課長・税務課長 斎藤佐一(住民課長)・住民課長 遠藤克己(産業課長)・建設課長 難波正(教育委員会事務局長)・議会事務局長 棚橋均(税務課長)・産業課長 小熊稔(産業課長補佐)・教育委員会事務局長 帆刈忠(建設課長補佐)・総務課長補佐・北原功(住民課長補佐)・建設課長補佐 星野

洋一(教育委員会参事)・産業課長補佐 柁沢巳吉(建設課参事)・教育委員会庶務学校教育係長 権沢マリ子(住民課住民係長)・福祉課児童福祉係長 野島マツイ(住民課福祉係長)・住民課保健衛生係長 山田千代子(産業課)・住民課戸籍係長 山村イシ(建設課)・収入役室会計係長 松井ユリ(住民課)・産業課農業係長 小林茂(産業課)・教育委員会社会教育係長 野島健司(教育委員会)・産業課産業係長 小方克夫(産業課)・福祉課社会福祉係長 齊藤一繁(住民課)・総務課財

政係長 河内和幸(総務課)・税務課 金子久美子(企画調整課)・福祉課 稲川明美(住民課)・企画調整課 小川久子(税務課)・福祉課 柁沢康彦(住民課)・福祉課 山岸猛(税務課)・教育委員会 西雅勝(住民課)・産業課 斎藤智典(総務課)

◎採用 建設課 結城浩・総務課 佐藤高弘・税務課 奥田潤・福祉課 齊藤克久・保母 駒形留美子・保母 霜田英美

◎退職(3月31日付)
奈良場 一(議会事務局長)
大矢 善子(収入役室参事)

消防団人事

町消防団幹部の任期は、2年となっており、今年はその再任期にあたります。

4月1日付けで発令された部長以上の新幹部は、再任も含め

■転任・退職された先生

()内は転任校等

▼脇野町小学校 教頭 宮竹勝(柏崎市・北条北小)、教諭 青木ひとみ(長岡市・関原小)、吉田順一(長岡市・栖吉小)、今井祐子(柏崎市・荒浜小)、清水真理(吉田町・吉田小)▼三島中学校 校長 丸山一郎(高柳町・高柳中)、教諭 今井浩二(津南町・津南中)、水島茂満(見附市・西中)、寺島佳子(出雲崎町・出雲崎中)

▼日吉小学校 教頭 田村邦夫(和島村・桐島小教頭)、小林喜美子(越路町・岩塚小)▼脇野町小学校 教頭 小池一弘(西山町・二田小教頭)、教諭 大矢法子(西山町・内郷小)、井沢弘子(長岡市・日越小)、保科理科(越路町・岩塚小)、富山一美(塩沢町・栃窪小)▼三島中学校 校長 鹿住悌治(退職)、教諭 清水正栄(退職)、石田ひろえ(中条町・中条中)



三島中学校
丸山一郎校長



芸と美の競演 老人クラブ芸能発表会・作品展

3月17日、老人クラブ連合会が主催する「芸能発表会」「作品展」がみしま交流センターを会場に行われました。

芸能発表では、いきがい講座「民謡講座」の皆さんが、歌と踊りを交え「三島音頭」や「佐渡甚句」などを発表。多数の飛び入り参加があったカラオケでは、投げキッ

スで会場を沸かせるおばあちゃんもあるなど、ご近所の芸人に盛んな拍手が贈られていました。

作品展には、盆栽講座のお年寄りが丹精込めた作りあげた植木や木工品、写真など、年期の入った力作が展示され、会場に訪れた人たちの目を引いていました。





みどりの日
(4月29日)

お知らせ

照会は電話で

三島町役場 42-2221(代)
ガス企業団 42-2671
水道企業団 72-2259
消防斉場組合 72-2572

火事・救急 119

下河根橋が開通

国道403号線瓜生〜下河根川間のバイパス工事が20日終了し、下河根橋が通行できるようになります。まっすぐに伸びるバイパスの開通で車の流れも、スムーズになります。



県議選の結果

4月9日執行された新潟県議会議員一般選挙三島郡区の三島町分の開票結果は次のとおりでした。
当日の有権者数 5,417人

投票者数 3,736人

投票率 68.97%

候補者の得票数

柄沢 正三 2,250票

巨 太一郎 1,398票

無効投票数 88票

納めて受けよう国民年金

国民年金コーナー



申請、問い合わせは
福祉課へ

サラリーマンの奥さんへ

第三号被保険者の特例届出

第三号被保険者とは、厚生年金や共済組合に加入している配偶者に扶養されている方で、自分で保険料を納める必要はありません。

第三号被保険者となるには届け出が必要となりますが、過去

高齢任意加入の特例

70歳まで任意加入できます

国民年金では老齢基礎年金の受給資格を確保できるよう、60歳から65歳になるまでの間、任意加入することができました。今回さらに平成7年4月より70歳まで特例的に任意加入することができるようになりました。対象者は、平成7年4月において40歳以上の方(昭和30年4

月1日以前生れ)で、65歳までには資格期間を満たすことができないが、70歳までに満たすことができる人です。

国民年金には保険料の免除制度があります

国民年金には、経済的な理由で保険料の納付が困難なときに申請により保険料の納付が免除される「申請免除」の制度があります。免除を受けた期間の金額は通常の3分の1に減額されますが、10年以内であればさかのぼって納められます。手続きは、役場の年金係に印鑑を持参して、免除申請書を提出してください。

昨年免除を受けられた方も免除期間は1年ですので、再度手

ロシア留学生と交流 脇野町の佐藤さん

ロシア共和国の大学生、アレクサンダー・パークさんが、先月の8・9日、脇野町の佐藤巧さん宅にホームステイしました。アレクサンダーさんは、「日本語教授法」を専攻する大学生。日本とロシアの学生交流会議に参加するため来日したもので、佐藤さん宅で、日本とロシアのお国事情を話題に歓談しました。



続きが必要です。保険料が納められない時は、滞納するより、まず役場の年金係へご相談ください。
3月までの保険料は4月末まで納めましょう
平成6年度分の保険料は、4月28日を過ぎますとお手元にある町が発行した納付書では納めることができせん。平成6年4月から平成7年3月までの保険料で、まだ納めていない保険料は、期日までに必ず納めてください。

風疹 予防接種の接種年度

昨年10月の予防接種法の一部改正により、下表のように風疹予防接種が変更になります。

接種年度	小学生	中学生
H 7	S63. 4. 2~ H元. 4. 1生	S56. 4. 2~ S58. 4. 1生
H 8	H元. 4. 2~ H2. 4. 1生	S58. 4. 2~ S59. 4. 1生
H 9	H2. 4. 2~ H3. 4. 1生	S59. 4. 2~ S60. 4. 1生
H 10	H3. 4. 2~ H4. 4. 1生	S. 4. 2~ S61. 4. 1生
H 11	H4. 4. 2~ H5. 4. 1生	S61. 4. 2~ S62. 4. 1生
H 12		S62. 4. 2~ S63. 4. 1生

H5. 4. 2生以降に生まれたお子さんは、それぞれ長岡市内の医療機関で受けていただくこととなりますが、詳しくは個々にお知らせします。

保健行事の お知らせ



対象	内容	日時	会場
H 4. 10 ~ H 5. 7 月 出生児	三種混合 I 期初回①	4月19日(水)受付 13:45~14:30	保健センター
H 6. 7 ~ H 6. 12 月 出生児	ツベルクリン反応	4月26日(水)受付 13:45~14:30	センター
H 6. 7 ~ H 6. 12 月 出生児	ツベルクリン反応判定 B C G	4月28日(木)受付 13:45~14:30	センター

山火事注意

集う森
声かけ合って
火の始末

タバコの投げ捨てはやめましょう

火入れの申請は産業課へ



俳句

雪空を振りかぶりたるシヨベルカー
中村 遊雲
畦塗りのおへし田の水はかせおく
名塚 清一
ひとかどの農夫のごとく耕せり
遠藤 枯骨
名刺の色彩り担う大橋
小林 守門
黒川の雪解水の旅路かな
遠藤 カズ
雪解けて畦一本に繁がれり
原 游子
万物の目覚めうながす春の雨
棚橋 比呂志
将棋指す心のゆとり春うらら
結城 老松
老木となりて貴重な椿かな
安達 南風
初蝶や妻の歩中にあはせをり
大滝 著風
春開の列を飛び出すプラカード
小林 悠子
奥座敷明りを集め白椿
桜井 草子
目覚ましを止めて春眠むさぼりぬ
難波 千代女
遠き日の疎開児童ら訪ね来ぬ心い
つしかタイムスリップ
田口 俊夫

広報カレンダー

4/20 木	リハビリ 13:00~	みしま園
21 金	保健委員研修 9:00~ 体育協会総会 19:00	保健センター 町体
22 土		
23 日		
24 月	ぬくみ会総会 10:00~	和島村
25 火	心配ごと相談 13:30~	役場相談室
26 水		
27 木	リハビリ 13:00~	みしま園
28 金		
29 土	みどりの日	
30 日		
5/ 1 月		
2 火	心配ごと相談 13:30~ 胃癌検診 8:00~	役場相談室 逆谷センター
3 水	憲法記念日	
4 木	リハビリ 13:00~ 国民の休日	みしま園
5 金	こどもの日	
6 土		
7 日		
8 月	胃癌検診 8:00~ 結核・肺癌検診 9:00~10:30 胃癌検診 8:00~ 結核・肺癌検診 10:45~11:15 結核・肺癌検診 13:00~13:30 結核・肺癌検診 13:45~14:00 結核・肺癌検診 14:15~15:00 ソフトバレーボール教室 20:00	鳥越センター 鳥越センター 中条親林館 中条親林館 逆谷集落センター 中永三叉路 蓮花寺集落センター 三島中体育館
9 火	心配ごと相談 13:30~ 胃癌検診 8:00~ 結核・肺癌検診 9:00~9:45 胃癌検診 8:00~ 結核・肺癌検診 10:00~10:30 結核・肺癌検診 10:45~11:30 結核・肺癌検診 13:00~13:30 結核・肺癌検診 13:45~14:15	役場相談室 藤宮センター 藤宮集落センター 脇野町岡本舘さん前 脇野町岡本舘さん前 七日市公民館 上岩井公民館 瓜生集落センター
10 水		
11 木	リハビリ 13:00~	みしま園
12 金		
13 土		
14 日	公民館長杯春季野球大会	スポーツ広場
15 月	高齢者リハビリ 9:00~	保健センター